

大学院留学が教えてくれたこと

2024年2月4日（日）

ロータリー財団グローバル補助金
奨学生（2740地区）

宮崎 稔樹

目次

- なぜ大学院留学を志したのか
- 現地での生活
- 修士課程で学んだこと
- 課外活動
 - 囲碁を通じた交流
 - 食を通じた交流
 - ショートドキュメンタリー制作
 - 現地ロータリーとの交流
- 旅行
 - イギリス国内
 - モロッコ、ドイツ、ベルギー、ハンガリーなど
- この経験をどう活かすのか



Humanitarian Journalists

Covering Crises from a Boundary Zone

MARTIN SCOTT, KATE WRIGHT,
AND MEL BUNCE



なぜ大学院留学を志したのか

- 実務経験（メディアと開発）
を学術的に深めたい
- 英語へのコンプレックスの克服



イーストアングリア 大学の所在地



- Norwich (ノーリッジ)
- 人口約14万人
- 中世にはイングランド最大の城塞都市として栄えていた



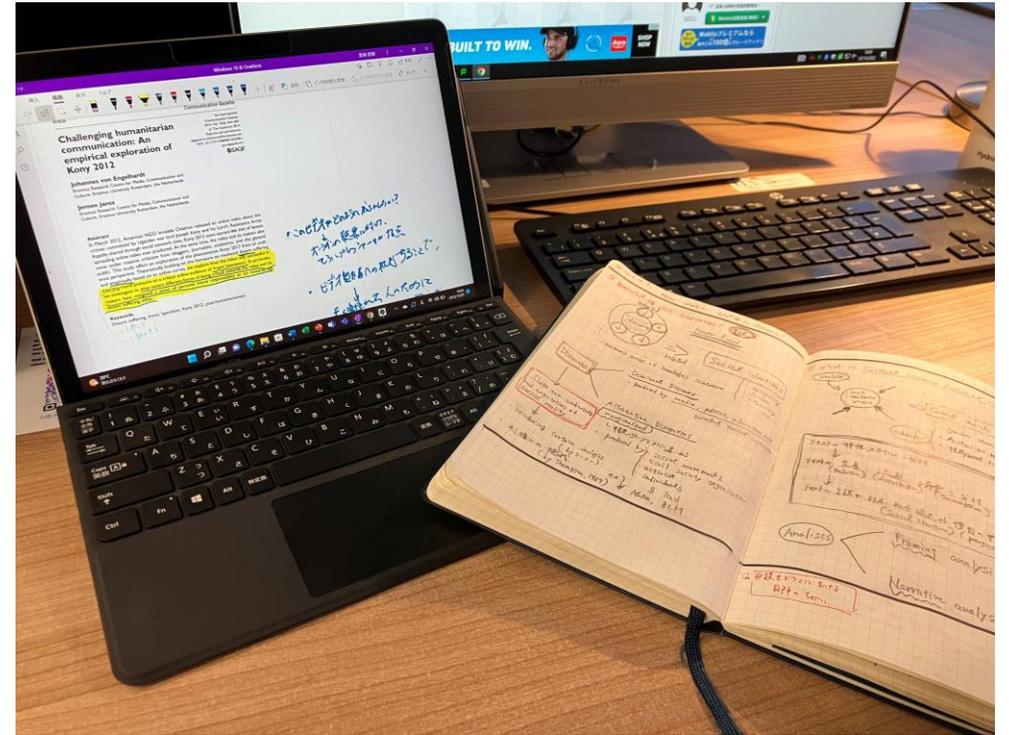
キャンパス風景

- 広さは300エーカー
(東京ドーム28個分)
- 外周約2キロの湖
- 野鳥、リス、ウサギ、シカも生息
- 学部生が約1万3000人
- 大学院生が約4000人
- 留学生数は約3000人



現地での生活

- とにかく勉強！「予習→授業→復習→課題」のくり返し
- 1期6コマで「学术论文（20P程度）×10本」の予習が各授業で必須
- ついたあだ名は「ライブラリアン」



修士課程で学んだこと

<秋学期> 9月下旬～12月

- Media, Democracy and Social Change
- Media, Communication and Development
- Understanding Digital Media

<春学期> 2月～5月

- Media and Development in Practice
- Climate Change and Development II
- Conflict Civil Wars and Peace

<夏学期> 6月～9月中旬

- Dissertation (修士論文)
- 12,000words
- 成績には授業3つ分で加算

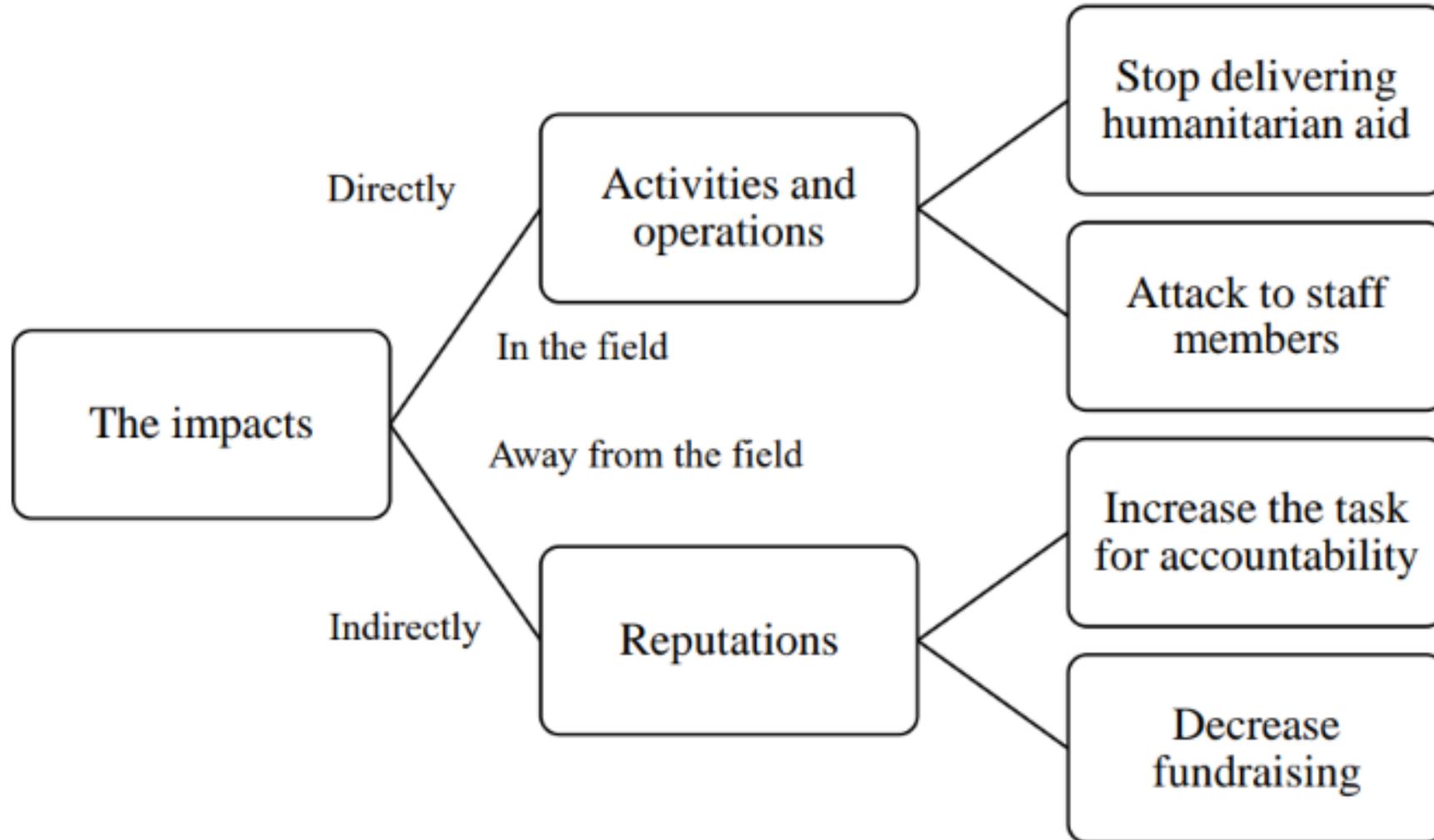
メディア×人道危機（気候変動や平和構築）を勉強！

修士論文（Dissertation）について

- **タイトル**： Mis/Disinformation and Humanitarian Practice : Impacts, Implications and Power Relations
- **テーマ**： 偽情報・誤情報が人道支援機関にどのような影響を与えているのか？
- **データ収集**： 国連、NGO、赤十字、開発機関の職員計15人へのインタビュー
- **分析手法**： 社会学的アプローチと言説的アプローチ（Critical Discourse Analysis）
- **意義**： 偽情報・誤情報と人道的分野の関係に焦点を当てた初めての質的研究
- **3つの発見**
 - 偽情報・誤情報が人道支援関係者に与える影響を一般化することに成功した。影響の規模（scale）と広がり（breadth）に着目した
 - 偽情報・誤情報に関する言説（discourse）は、人道支援関係者の存在意義やプロジェクトの失敗を正当化するために利用されている。また、偽情報・誤情報は、人道主義の基本原則である「中立性（neutrality）」の概念を脅かし、再定義を余儀なくさせている
 - 偽情報・誤情報は、人道主義言説の中で浮遊する記号として機能し、関係するステークホルダー間の力関係（power relations）を強化している

偽情報・誤情報が人道支援関係者に与える影響

Figure 1: The impacts of mis/disinformation on humanitarian actors



成績一覽

- Media, Democracy, and Social Change : **80.00**
- Media, Communication and Development : 68.00
- Understanding Digital Media : **72.00**
- Media and Development in Practice : 68.00
- Climate Change and Development II : 73.5
- Conflict, Civil Wars and Peace : 75.00
- Dissertation : **78.00**
- Average : 74.5 (綜合成績 : Distinction)

※綜合成績で首席にはなれず (> <)



囲碁を通じた交流

学内に囲碁サークルを発見！「マスター」と呼ばれ、崇められる！



食を通じた交流

- 週末はParty !
- 誕生日会を自分で主催する
- 各国料理でおもてなしし合う



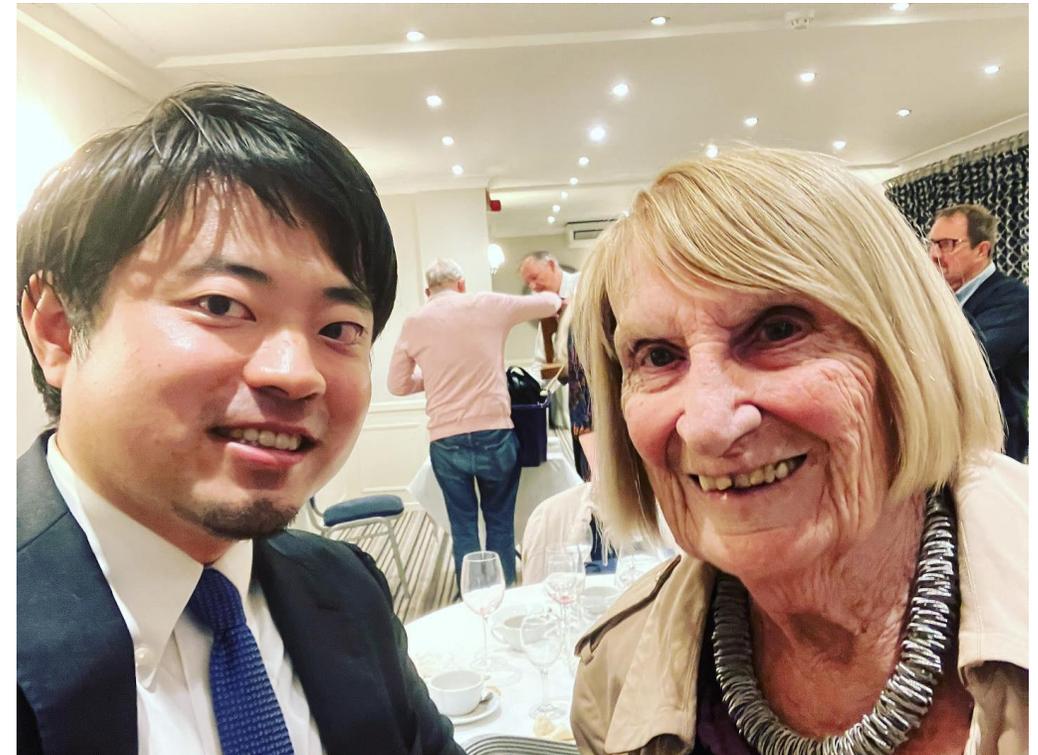
ショートドキュメンタリー制作

- タイトル：「My Post（マイポスト）」
- 長期休みに開かれた3日間のワークショップの一環
- 3分間の映像制作が課題
- 企画が採用され、ディレクターに
- 着想のきっかけは、実家からの仕送り



現地ロータリーとの交流① (Norwich)

- 2022年10月にノーリッジ支部（マイルズ・ネービル会長）を訪問
- 会員約20人で、若い会員の新規獲得が課題
- 毎週木曜日の例会では会員の方が歌を披露するなど活気にあふれていた
- コンタクトパーソンは、メアリー・ビアドウッドさん
- ケンブリッジ大学の奨学生イベントにも参加



現地ロータリーとの交流② (Watton)

- 2022年11月にはノーリッジからバスで1時間程の場所にあるワットン支部を訪問
- 40分間の発表の機会を頂き、①長崎/佐賀について②これまでのキャリアと大学院での研究内容③将来の展望——を中心にプレゼンテーション
- 特に新聞記者としての駆け出しの5年間で過ごした東日本大震災と東京電力福島第1原発事故の被災地・福島の現状について多くの質問あり、関心の高さが伺えた



旅行①：イギリス国内



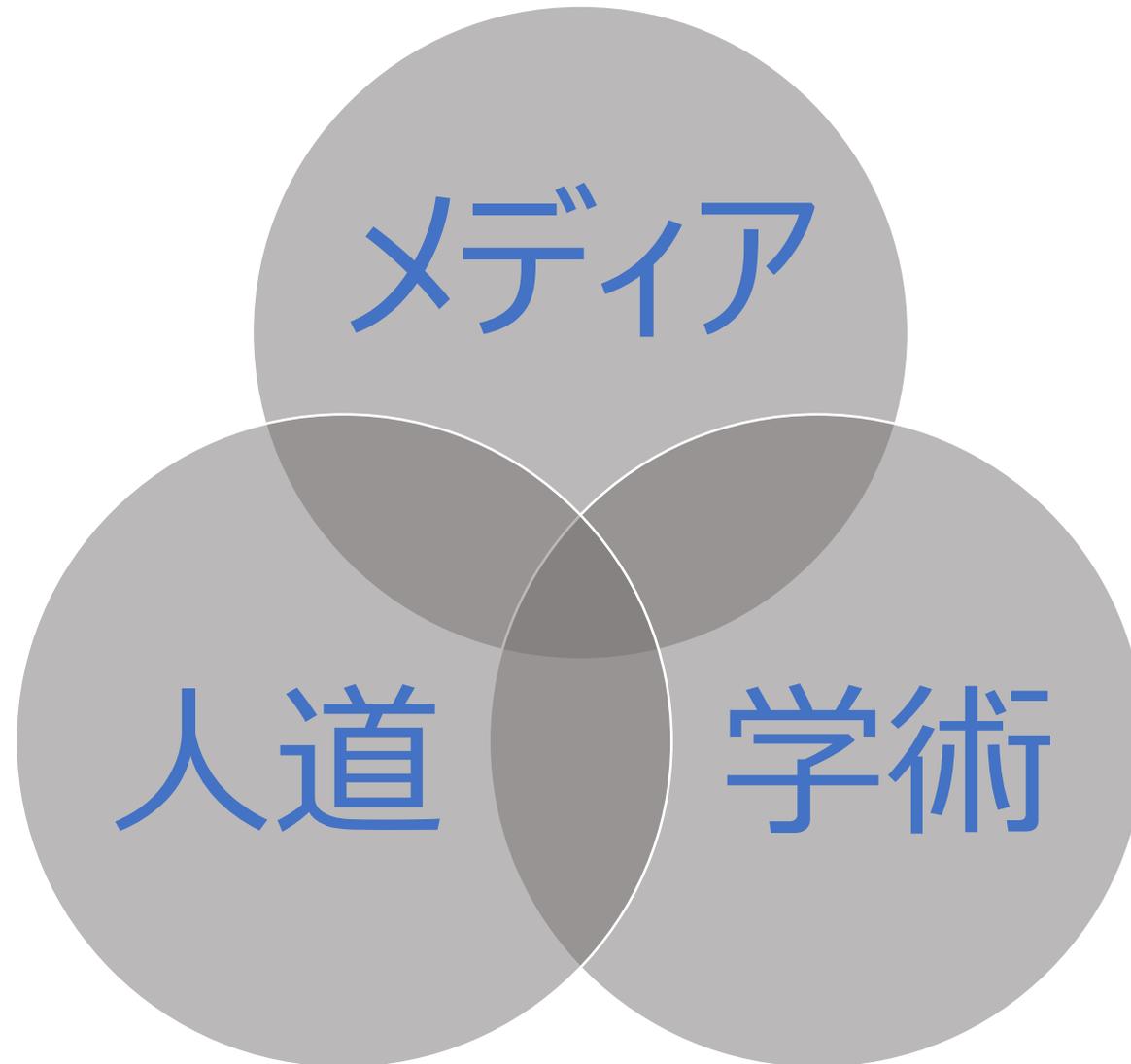
旅行②：モロッコ、ドイツ、 ベルギー、ハンガリー



大学院留学での 最上の喜びとは



大学院留学の経験をどう活かすか



今、取り組んでいること

- 調査報道とノンフィクションを配信するウェブメディア「スローニュース」の編集者
- 会社として目指しているのは、調査報道とノンフィクションのエコシステムをつくること
- 情報アプリ開発「スマートニュース」の子会社（「ユニコーン」と呼ばれる、企業価値が10億ドル以上の未上場企業）
- 偽情報・誤情報に関する研究
- 国際機関やNGO/NPOとのパートナーシップ拡大



おわり

